



平素は、JAとうとの事業運営に格別のご支援ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

国内経済は、底堅い個人消費や雇用環境の改善を背景に緩やかに回復してきておりましたが、米中の貿易摩擦、英国のEU離脱問題、中東問題等々、世界経済の減速の影響を受け輸出の停滞等下振れ懸念が高まってきております。

今年は新元号初年度、また消費税増税を控えた駆け込み需要等から若干の景気浮揚が期待されますが、下期においては消費税増税後の反動減も予測されております。

さて、平成28年に新たな農協法が施行され、JAグループは「農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化」という3つの大きな目標を掲げ、未だ途中ではございますが、その目標の具現化のための自己改革に取り組んでまいりました。

こうした中、岐阜県JAグループは今後3年間「農業者の所得増大の実現、協同による地域の活性化への貢献、JAの経営基盤の強化」を共通の重点方針とし、総力を挙げて取り組むことを決議いたしましたので、何卒、ご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

JAとうとの平成30年度は「第6期中期事業計画」の最終年度として、各施策目標の達成に向け積極的に取り組みました結果、順調な事業実績を報告できますことは、ひとえに組合員並びに地元の皆様方の温いご支援ご協力の賜であり重ねて厚くお礼申し上げます。

令和元年度は「第7期中期事業計画」の初年度として、地元の農業振興への取り組みは勿論のこと、「JAとうと」が将来にわたり総合事業を継続的に展開し、食と農を基軸とした協同組合として組合員をはじめ地元の皆様方のお役に立てるよう、役職員一丸となって努力いたす所存でございます。

ここに「2019年版 ディスクロージャー誌」を発行させていただきます。今後とも尚一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに皆様方のご健勝とご繁栄をご祈念申し上げます。

令和元年7月

代表理事組合長 可知井 実